

令和5年度事業報告

1 概況

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、徐々に社会経済活動も活気を取り戻しましたが、エネルギー価格の高騰、物価上昇などが、人々の暮らしや経済に影響を与えました。

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや仲間づくり、社会参加の場として、重要な役割を担っています。

こうした中、宇部市シルバー人材センターでは、会員の拡大、就業機会の拡大、安全就業の推進を軸に事業に取り組みました。

会員の状況については、定年延長や再雇用制度が定着しつつある中、会員の拡大は厳しい環境にあり、令和5年度末の会員数は1,226人、前年度末との比較では、残念ながら7人の減少となりました。

事業実績については、契約金額は5億4,080万円で、前年度と比較すると832万円、1.5%の減少となりました。

安全就業については、傷害事故が5件（前年度比+1）賠償事故が9件（前年度同数）発生しています。傷害事故の5件はいずれも就業中の事故で、打撲、骨折等、入院2件、通院3件となっています。また、賠償事故9件の内6件が機械除草作業中の飛び石事故となっています。

以下、令和5年度の事業実施状況について報告します。

2 事業実施状況

（1）会員の維持・拡大

会員の維持・拡大は、センターの最重要課題であり、

- ・入会説明会の開催（毎月2回 第2、第4木曜日）
- ・市広報に入会説明会開催案内の掲載（隔月）
- ・地元情報誌に会員募集広告の掲載（毎月）
- ・ハローワークでの出張相談会の実施（毎月1回）
- ・女性委員会による各種講習会の開催（4回）
- ・就業体験の実施（1回）
- ・会員紹介制度（27人入会）
- ・夫婦会員制度（60組）、サポート会員制度（36人）等

入会促進、退会抑制に向けた取組を行いました。

(2) 事業実績

就業実人員は 954 人（前年度 943 人）、就業延人員は 93,559 人（前年度 97,268 人）、就業率は 77.8%（前年度 76.5%）となりました。

令和 5 年度の請負・委任事業と派遣事業を合わせた受注件数は 4,440 件、契約金額は 5 億 4,080 万円（前年度比△1.5%）となりました。

就業機会の拡大については、新たに宇部市の子育てグッズリユース事業の採択を受け、多様な就業を創出することができました。

(3) 安全就業の推進

4 月に安全講習会を除草・機械除草・植木剪定班合同で開催しました。

安全衛生委員会による安全パトロールを実施するとともに「安全だより」を発行し注意喚起を行いました。

頻発する機械除草作業中の飛び石事故を受けて、10 月に安全就業基準の厳格化、11 月に飛散防止ネットの各班配備、12 月に事故防止研修会の開催等、緊急の対策を講じました。また、刈払機に取り付ける飛び石防止器具の購入助成を 39 件行い、導入促進を図りました。

(4) 普及啓発活動

シルバー人材センターの活動をより広く知っていただくため、ウェブサイトや SNS の充実、各種チラシの作成・配布、地元地方紙への情報提供等により、情報発信に努めました。

また、地域班による清掃作業等のボランティア活動や宇部まつり、うべ福祉まつりでの PR 活動などを通じて、普及啓発に努めました。

(5) 会員組織活動

総務広報委員会では、会報「シルバー宇部」を年 4 回発行し、会員への情報提供と会員間のコミュニケーションを図りました。

組織研修委員会では、役員等合同研修会、接遇・ハラスメント・人権講習会等を開催し、役職員、会員の資質向上に努めました。

また、センター事業の運営に多くの会員の意見や要望を反映させるため、地域班会議が全 12 地域で開催されました。

職群班では、技能向上と情報共有を図るため、会議や講習会が開催されました。

(6) 会員の福利厚生

8 月に「会員のつどい」を開催し、認知症についての講演、交通安全教室、安全宣言を行いました。また、演芸大会、お楽しみ抽選会を実施しました。

11 月には会員相互の親睦も兼ねて周防大島への研修旅行を実施しました。